



生物資源科

沖縄県立南部農林高等学校

学科目標

有用な資源植物の栽培・研究、希少植物の保護活動を行う。又、畜産にかかわる飼養・精肉加工技術を習得させる。更に、バイオテクノロジーに関する知識と技術を学び、農業及び産業技術者として必要な能力・実践力を養成する。

植物資源コース

- ①資源植物（薬用、在来植物、絶滅危惧植物）の栽培研究・保護活動。
- ②バイオテクノロジー最新技術での植物栽培・研究。

沖縄の希少・資源植物の調査



植物バイオ実験



ハーブ植物を活用した研究



室内園芸装飾3級



草花の栽培



高校3年間で必ず身につく
主な知識・技術

- ◆1, 草花の栽培・繁殖ができます。
- ◆2, バイオテクノロジーを使って、ラン類や希少植物の増殖・無菌操作ができます。
- ◆3, 植物の有効利用について研究し実践できます。(ハーブのキャンドル等)

1学年の実習

ダイコンの栽培、収穫



トウモロコシの栽培、収穫



紅イモの栽培、収穫



鶏のデビーク実習
(くちばし切り)



「生きるということ」

生物資源科

人間が生きるということ、
それは、食べるということ。
食べるということ、
それは、動植物の命を
いただくということ。
命がいただけるということ、
それは、誰かがその命を
大切に育てているということ。

畜産資源コース

- ①家畜の飼育管理（牛・豚・鶏）
- ②家畜の解体、加工、販売の一貫農業。(第六次産業の確立)
- ③有効的・安心な堆肥づくり。

牛の管理実習



卵の集卵実習



豚のエサ給餌実習



鶏の解体実習



豚の解体実習



高校3年間で必ず身につく
主な知識・技術

- ◆1, 家畜の基本的な管理(各家畜へのエサの給餌・牛、豚、鶏の適切な扱い・分娩対応、去勢・病気に対する適切な管理など)ができる。
- ◆2, 鶏、豚、牛の解体技術が身につく。
- ◆3, ハム、ベーコン、ハンバーグ、ローストチキン、などの加工品が製造できる。

資格取得・検定

- *小型移動式クレーン技能試験
- *危険物取扱者試験
- *室内園芸装飾技能検定
- *ワープロ検定
- *車両系建設運転技能者資格
- *ガス溶接技能講習
- *ボイラー取扱技能講習
- *2級ボイラー技士
- *アーク溶接特別技能講習
- *玉かけクレーン技能試験
- *初級バイオ技術者検定
- *日本農業技術検定
- *畜産上級検定

卒業後の進路

○進学

琉球大学（農学部・理学部）、名桜大学、沖縄大学、沖縄国際大学、南九州大学、県立農業大学校、動物関係専門学校、自動車整備専門学校、育成保育カレッジ、デザイン系専門学校、バイオ系専門学校 等

○就職

畜産業（養豚場関係・食肉関係・食品関係）、農園及び園芸関係、サービス業 街クリーン株式会社、株式会社ジェイ・エス・エス、金秀商事株式会社、(株)東商会、Aコーポアトル店、セコムスタティック琉球 等

行事・実習の様子

採卵鶏のヒナ



保育園との交流会



牛の管理



プラスチック栽培



花まつり(動物園)



豚の授乳



ハーブの栽培

